

# 平成28年度年間指導計画

教科名：芸術 I  
科目名：音楽 I

該当学年：1年

単位数：2

使用教科書：教育出版 高校音楽① Music View ミュージックビュー

校長		教頭	
----	--	----	--

学期	月	単元及び指導目標	指導内容	教材		指導上の工夫・留意点	評価
				表現	鑑賞		
一 学期	4	6	1 音楽の構成を学ぶ 2 リズム学習 (基礎)  3 歌唱指導 ・階名唱 ・校歌 ・「手紙」 ・合唱曲集より	・音楽の要素 ・音階と旋法 ・音符の種類 ・拍子記号について ・豆テストで学習内容を確認する ・歌唱の導入 「少年時代」 「世界に一つだけの花」の中からクラスで選択	・いろいろな音階  「夢の世界を」 「Blieve」	・日本の音階 ・ガムラン ・ブルース ・教会旋法  CDによる同曲の鑑賞	・これまで学習を整理して基礎力をつける。 ・表現の多様性を知る  授業の雰囲気づくり。発声に慣れる。中学校で歌い慣れた歌を選ぶ。 「歌うこと」「聴くこと」を楽しむ
	5	6	1 リズム学習 (応用)  2 歌唱指導	リズムアンサンブルクラス発表  ・4月に選択した歌を合唱曲にする ・歌唱練習および歌唱テスト	「クラッピングカルテット」より  選択曲 1	CDによる同名曲の鑑賞	・読譜力をつけることと同時にリズムの持つ表現力を感じ取り楽しむ  ・グループ学習 お互いの話し合いの中でリーダーを選出し、音取りをする。 ・表現のツボ、きちんと歌い込む箇所などを話し合わせる
	6	8	1 鍵盤学習①  2 歌唱指導  3 筆記テスト	・鍵盤楽器の仕組み ・#♭について ・「手紙」を弾く  ・4月に選択しなかった方の曲を練習する ・歌唱テスト	「手紙」  選択曲 2	「クラッピングカルテット」  CDによる同名曲の鑑賞	・鍵盤楽器の基本を知る。 ・右手はメロディ 左手はコードのベース音 両手で弾くことを目標にする ・グループで話し合いながら音取りや表現について話し合う。
二 学期	7	6	1 鍵盤学習②  2 歌唱指導	「スカボロー・フェア」を演奏する  「スカボロー・フェア」を歌う	五音音階を弾き、音階の種類について感得する。	CDによる同名曲の鑑賞  曲の内容、背景 イングランド原曲の紹介	・4月に学習した「いろいろな旋法を」振り返る。曲は連弾で演奏することを目標にする  ・英語歌唱導入。
	9	8	1 リコーダー学習  2 歌唱指導	・音階練習 ・基本的奏法  ・「Smile」 映画「モダン・タイムス」の主題曲	練習曲集	「モダン・タイムス」	・リコーダーの正しい奏法や音色を学習する。  ・英語詩の韻について ・チャップリンの映画と音楽について

学 期	10	8	1 アンサンブル学習 2 歌唱指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Smile」をパートに分けてアンサンブルをする。</li> <li>・混声三部合唱 女声三部合唱 歌詞と音楽について 作品の主題について</li> </ul>	「Smile」  「HEIWA の鐘」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の鍵盤楽器、リコーダーに歌やパーカッション類を組み合わせ、グループごとに話し合いながらどのように演奏するかを決める。</li> <li>・作品に込められた意図や主題を感じ取りながら、表現する方法を学ぶ。</li> </ul>		
		11	8	1 ギターの学習① 2 歌唱指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の構成</li> <li>・音合わせ</li> <li>・音階練習</li> </ul> ビートルズを歌う	「Yesterday」 「Imagin」	ギターの名曲を聴く  「Help!」 DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の力に応じた目標到達点を明確にする。</li> <li>・ビートルズの作品を学習するポピュラーミュージックに与えた影響は大きく、多種多様な表現形態とその時代背景について学ぶ。</li> </ul>	
	12	6	1 ギターの学習② 2 クリスマスソングに親しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コードのいろいろな弾き方</li> <li>・ハンドベル演奏を楽しむ</li> </ul>	「オーラリー」  「クリスマスメドレー」	クリスマスに関するいろいろな作品の鑑賞	「弾き語り」に挑戦する。各自の力に応じた目標到達点を明確にする。簡単な合唱曲や、クリスマスのいろいろな曲を楽しむ。生徒の持ち込み曲なども認めて、多様な曲を聴けるようにする。		
			1	6	1 アンサンブルを楽しむ① 2 混声・同声三部合唱	グループ編成および選曲 キーボード、ギター、歌、リズム楽器を活用したアンサンブル  声のアンサンブルを楽しむ	各グループで選んだ作品を演奏可能な楽器にアレンジする。 未定 合唱曲集の中からクラスで歌いたい曲を選択する	練習風景の録画および録音	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みやすい楽譜選びを工夫する。</li> <li>楽器のバランスや、メンバーの構成に注意する。</li> <li>クラスのまとまりを感じる。合唱曲の発声や詩の内容について話し合ったり鑑賞したりする。</li> </ul>
	三 学 期	2	6	1 アンサンブルを楽しむ② 2 中間発表	アンサンブルの表現の工夫  各グループの発表 および表現の工夫	各グループの選んだ作品	中間発表の録画観た後の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメートに聴いてもらうことで、集中力を養う。</li> <li>他のグループの演奏を聴くことによって、表現の工夫を考える。</li> </ul>	
				3	4	1 アンサンブルを楽しむ③ 2 本発表	発表へ向けた取り組み	各グループ本発表  および感想文作成	本発表の録画  総まとめ

# 平成 2 8 年度年間指導計画

教科名：学校設定科目  
科目名：音楽文化

該当学年：2年

単位数：2

担当者名： 宮城 浩信

校長		教頭	
----	--	----	--

学 期	月	単元及び指導目 標	指 導 内 容	教 材		指 導 上 の 工 夫 ・ 留 意 点	評 価	
				表 現	鑑 賞			
一 学 期	4	6	1 音楽文化クラス開き  2 読譜力をつけるための基礎学習① リズム  3 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽文化を選択した理由・目標などの確認</li> <li>・個々の学びたい内容について面談形式で確認する。</li> <li>・音符の種類</li> <li>・「クラッピングカルテット」</li> <li>・「島人ぬ宝」</li> <li>・「風」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三線伴奏</li> <li>・二部合唱</li> </ul>	CDによる同曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した生徒がどのような目標や希望を持っているのかを確認し、年間指導計画の中にできる限り反映させる。</li> <li>・音楽Ⅰを学習していない生徒もいるので、基礎学習から開始する。</li> <li>・三線が弾ける生徒に依頼</li> </ul>	
	5	6	1 読譜力をつけるための基礎学習② 音階  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードの学習教科書 p 3 2～3 4 童謡曲集</li> <li>・「思い出がいっぱい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メロディ表現</li> <li>・二部合唱</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音階名およびキーボードの基本的奏法について学ぶ。</li> <li>・簡単なメロディを数曲弾く。</li> <li>・二部の合唱曲を練習する。</li> <li>・歌詞の内容から感じたことや表現の工夫について話し合う</li> </ul>	
	6	8	1 器楽アンサンブル練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡曲集の中から選んだ作品を、アンサンブルにアレンジする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めだかの学校・トンボのめがね・やぎさんゆうびん・ぞうさん・鳩</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンサンブルを編成する作業の中から、創意工夫や表現の工夫を習得する。</li> </ul>	
	7	6	1 器楽アンサンブル発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会</li> <li>・各グループがA3サイズの画用紙でポスターを作成し発表するときに掲示する。</li> <li>・編成や工夫したところなども発表する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の表現の仕方に工夫が観られたか。</li> <li>・編成は適していたか。</li> <li>・曲についての理解はしっかりとされていたか。</li> </ul>	
二 学 期	9	8	1 和音について  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三和音</li> <li>・七の和音</li> <li>・キーボードによる和音学習</li> <li>・「リトルドラマーボーイ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードによる和音の確認</li> <li>三部合唱 パーカッション</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長三和音・短三和音・属七の和音について学習し、キーボードで確認する。</li> <li>・三声の和声を感じ取る。</li> <li>・パート練習をしっかりと行う</li> </ul>	
	10	8	1 創作  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とんぼのめがね」の替え歌</li> <li>・日本音階によるメロディ作り</li> <li>・リトルドラマーボーイ練習および発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ制作</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・既成の旋律に歌詞をつけ不都合が起きた箇所を手直ししていく過程を経て旋律作りを学ぶ。</li> <li>・発表会の形を取ることで、曲への集中力を維持させる。</li> </ul>	

三 学 期	11	8	1 器楽 2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの学習音階・コード</li> <li>・「北の国から」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北の国から」</li> <li>・ハミング</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターによる弾き語りあるいはアンサンブル</li> <li>・歌詞のない曲にどのように気持ちを込めて歌うのかを自ら考える。</li> </ul>
	12	6	1 発表会準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人・グループで曲を選定し、発表するものについて計画案を提出する。</li> <li>・プログラム作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自が選曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した曲に応じたCD等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業の締めくくりとして、生徒主体の授業展開をする。</li> <li>・これまで学んだことを振り返りながら演奏してみたい曲を決めるアドバイスをする。</li> <li>・楽譜等をそろえる。</li> </ul>
	1	6	1 発表会準備 2 中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫が必要な箇所や編成が上手くいっているか等の確認。</li> <li>・発表用ポスターの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自が選曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した曲に応じたCD等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別に点検を行い進行状況を確認する。</li> <li>・曲目の変更や到達しやすいレベルへの変更等を行う。</li> <li>・仕上げに入っているグループに対しては、表現のレベルアップをアドバイスする。</li> </ul>
	2	6	1 本発表会 2 卒業の歌練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの作成</li> <li>・ポスターの作成</li> <li>・アンサンブルの総仕上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者など役割分担し生徒で運営する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販されているいろいろな楽譜を自分なりにアレンジすることで、より主体的に音楽との関わる方法を身につけて欲しい。</li> </ul>
	3	4	1 DVD作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンド・バイ・ミー</li> <li>・耳をすませば</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名曲を持つ映画の鑑賞</li> </ul>

# 平成28年度シラバス

教科名：芸術 I  
科目名：音楽 I

該当学年：1年 単位数：2  
使用教科書：教育出版 高校音楽① Music View ミュージックビュー

担当者名：宮城 浩信

校長		教頭	
----	--	----	--

学 期	月	単元及び指導目 標	指 導 内 容	教 材		指 導 上 の 工 夫 ・ 留 意 点	評 価
				表 現	鑑 賞		
一 学 期	4	6	1 音楽の構成を学ぶ 2 リズム学習 (基礎)  3 歌唱指導 ・ 階名唱 ・ 校歌 ・ 「手紙」 ・ 合唱曲集より	・ 音楽の要素 ・ 音階と旋法 ・ 音符の種類 ・ 拍子記号について ・ 豆テストで学習内容を確認する ・ 歌唱の導入 「少年時代」 「世界に一つだけの花」の中からクラスで選択	・ いろいろな音階  「夢の世界を」 「Blieve」	・ 日本の音階 ・ ガムラン ・ ブルース ・ 教会旋法  CDによる同曲の鑑賞	・ これまで学習を整理して基礎力をつける。 ・ 表現の多様性を知る  授業の雰囲気づくり。発声に慣れる。中学校で歌い慣れた歌を選ぶ。 「歌うこと」「聴くこと」を楽しむ
	5	6	1 リズム学習 (応用)  2 歌唱指導	リズムアンサンブル クラス発表  ・ 4月に選択した歌を合唱曲にする ・ 歌唱練習および歌唱テスト	「クラッピングカルテット」より  選択曲 1	CDによる同名曲の鑑賞	・ 読譜力をつけることと同時にリズムの持つ表現力を感じ取り楽しむ  ・ グループ学習 お互いの話し合いの中でリーダーを選出し、音取りをする。 ・ 表現のツボ、きちんと歌い込む箇所などを話し合わせる
	6	8	1 鍵盤学習①  2 歌唱指導  3 筆記テスト	・ 鍵盤楽器の仕組み ・ 井bについて ・ 「手紙」を弾く  ・ 4月に選択しなかった方の曲を練習する ・ 歌唱テスト	「手紙」  選択曲 2	「クラッピングカルテット」  CDによる同名曲の鑑賞	・ 鍵盤楽器の基本を知る。 ・ 右手はメロディ 左手はコードのベース音 両手で弾くことを目標にする ・ グループで話し合いながら音取りや表現について話し合う。
	7	6	1 鍵盤学習②  2 歌唱指導	「スカボロー・フェア」を演奏する  「スカボロー・フェア」を歌う	五音音階を弾き、音階の種類について感得する。	CDによる同名曲の鑑賞  曲の内容、背景 イングランド原曲の紹介	・ 4月に学習した「いろいろな旋法を」振り返る。曲は連弾で演奏することを目標にする  ・ 英語歌唱導入。
二	9	8	1 リコーダー学習  2 歌唱指導	・ 音階練習 ・ 基本的奏法  ・ 「Smile」 映画「モダン・タイムス」の主題曲	練習曲集	「モダン・タイムス」	・ リコーダーの正しい奏法や音色を学習する。  ・ 英語詩の韻について ・ チャップリンの映画と音楽について

学 期	10	8	1 アンサンブル学習 2 歌唱指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Smile」をパートに分けてアンサンブルをする。</li> <li>・混声三部合唱 女声三部合唱 歌詞と音楽について 作品の主題について</li> </ul>	「Smile」  「HEIWA の鐘」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の鍵盤楽器、リコーダーに歌やパーカッション類を組み合わせ、グループごとに話し合いながらどのように演奏するかを決める。</li> <li>・作品に込められた意図や主題を感じ取りながら、表現する方法を学ぶ。</li> </ul>		
		11	8	1 ギターの学習① 2 歌唱指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の構成</li> <li>・音合わせ</li> <li>・音階練習</li> </ul> ビートルズを歌う	「Yesterday」 「Imagin」	ギターの名曲を聴く  「Help!」 DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の力に応じた目標到達点を明確にする。</li> <li>・ビートルズの作品を学習するポピュラーミュージックに与えた影響は大きく、多種多様な表現形態とその時代背景について学ぶ。</li> </ul>	
	12	6	1 ギターの学習② 2 クリスマスソングに親しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コードのいろいろな弾き方</li> <li>・ハンドベル演奏を楽しむ</li> </ul>	「オーラリー」  「クリスマスメドレー」	クリスマスに関するいろいろな作品の鑑賞	「弾き語り」に挑戦する。各自の力に応じた目標到達点を明確にする。簡単な合唱曲や、クリスマスのいろいろな曲を楽しむ。生徒の持ち込み曲なども認めて、多様な曲を聴けるようにする。		
			1	6	1 アンサンブルを楽しむ① 2 混声・同声三部合唱	グループ編成および選曲 キーボード、ギター、歌、リズム楽器を活用したアンサンブル  声のアンサンブルを楽しむ	各グループで選んだ作品を演奏可能な楽器にアレンジする。 未定 合唱曲集の中からクラスで歌いたい曲を選択する	練習風景の録画および録音	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みやすい楽譜選びを工夫する。</li> <li>楽器のバランスや、メンバーの構成に注意する。</li> <li>クラスのまとまりを感じる。合唱曲の発声や詩の内容について話し合ったり鑑賞したりする。</li> </ul>
	三 学 期	2	6	1 アンサンブルを楽しむ② 2 中間発表	アンサンブルの表現の工夫  各グループの発表 および表現の工夫	各グループの選んだ作品	中間発表の録画観た後の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスメートに聴いてもらうことで、集中力を養う。</li> <li>他のグループの演奏を聴くことによって、表現の工夫を考える。</li> </ul>	
				3	4	1 アンサンブルを楽しむ③ 2 本発表	発表へ向けた取り組み  および感想 文作成	各グループ本発表  および感想 文作成	本発表の録画  総まとめ

# 平成28年度シラバス

教科名：学校設定科目  
科目名：音楽文化

該当学年：2年

単位数：2

担当者名： 宮城 浩信

校長		教頭	
----	--	----	--

学期	月	単元及び指導目標	指導内容	教材		指導上の工夫・留意点	評価		
				表現	鑑賞				
一 学期	4	6	1 音楽文化クラス開き  2 読譜力をつけるための基礎学習① リズム  3 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽文化を選択した理由・目標などの確認</li> <li>個々の学びたい内容について面談形式で確認する。</li> <li>音符の種類</li> <li>「クラッピングカルテット」</li> <li>「島人ぬ宝」</li> <li>「風」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三線伴奏</li> <li>二部合唱</li> </ul>	CDによる同曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択した生徒がどのような目標や希望を持っているのかを確認し、年間指導計画の中にできる限り反映させる。</li> <li>音楽Ⅰを学習していない生徒もいるので、基礎学習から開始する。</li> <li>三線が弾ける生徒に依頼</li> </ul>		
	5	6	1 読譜力をつけるための基礎学習② 音階  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードの学習 教科書 p 32～34 童謡曲集</li> <li>「思い出がいっぱい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メロディ表現</li> <li>二部合唱</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>音階名およびキーボードの基本的奏法について学ぶ。</li> <li>簡単なメロディを数曲弾く。</li> <li>二部の合唱曲を練習する。</li> <li>歌詞の内容から感じたことや表現の工夫について話し合う</li> </ul>		
	6	8	1 器楽アンサンブル練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>童謡曲集の中から選んだ作品を、アンサンブルにアレンジする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めだかの学校・トンボのめがね・やぎさんゆうびん・ぞうさん・鳩</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>アンサンブルを編成する作業の中から、創意工夫や表現の工夫を習得する。</li> </ul>	
	7	6	1 器楽アンサンブル発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会</li> <li>各グループがA3サイズの画用紙でポスターを作成し発表するときに掲示する。</li> <li>編成や工夫したところなども発表する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の表現の仕方に工夫が観られたか。</li> <li>編成は適していたか。</li> <li>曲についての理解はしっかりとされていたか。</li> </ul>	
二 学期	9	8	1 和音について  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和音</li> <li>七の和音</li> <li>キーボードによる和音学習</li> <li>「リトルドラマーボーイ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードによる和音の確認</li> <li>三部合唱</li> <li>パーカッション</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>長三和音・短三和音・属七の和音について学習し、キーボードで確認する。</li> <li>三声の和声を感じ取る。</li> <li>パート練習をしっかりと行う</li> </ul>		
	10	8	1 創作  2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>「とんぼのめがね」の替え歌</li> <li>日本音階によるメロディ作り</li> <li>リトルドラマーボーイ練習および発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ制作</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既成の旋律に歌詞をつけ不都合が起きた箇所を手直ししていく過程を経て旋律作りを学ぶ。</li> <li>発表会の形を取ることで、曲への集中力を維持させる。</li> </ul>		

三 学 期	11	8	1 器楽 2 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの学習音階・コード</li> <li>・「北の国から」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北の国から」</li> <li>・ハミング</li> </ul>	CDによる同名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターによる弾き語りあるいはアンサンブル</li> <li>・歌詞のない曲にどのように気持ちを込めて歌うのかを自ら考える。</li> </ul>
	12	6	1 発表会準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人・グループで曲を選定し、発表するものについて計画案を提出する。</li> <li>・プログラム作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自が選曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した曲に応じたCD等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業の締めくくりとして、生徒主体の授業展開をする。</li> <li>・これまで学んだことを振り返りながら演奏してみたい曲を決めるアドバイスをする。</li> <li>・楽譜等をそろえる。</li> </ul>
	1	6	1 発表会準備 2 中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫が必要な箇所や編成が上手くいっているか等の確認。</li> <li>・発表用ポスターの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自が選曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した曲に応じたCD等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別に点検を行い進行状況を確認する。</li> <li>・曲目の変更や到達しやすいレベルへの変更等を行う。</li> <li>・仕上げに入っているグループに対しては、表現のレベルアップをアドバイスする。</li> </ul>
	2	6	1 本発表会 2 卒業の歌練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの作成</li> <li>・ポスターの作成</li> <li>・アンサンブルの総仕上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者など役割分担し生徒で運営する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販されているいろいろな楽譜を自分なりにアレンジすることで、より主体的に音楽との関わる方法を身につけて欲しい。</li> </ul>
	3	4	1 DVD作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンド・バイ・ミー</li> <li>・耳をすませば</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名曲を持つ映画の鑑賞</li> </ul>



